

## 第12回「朗読を楽しむ」『あひさつ』

2023/09/30

劇研「空」代表 洲浜 昌三

例年にならない酷暑の夏が過ぎ、朝勉は秋らしい涼しさを感じる頃となりました

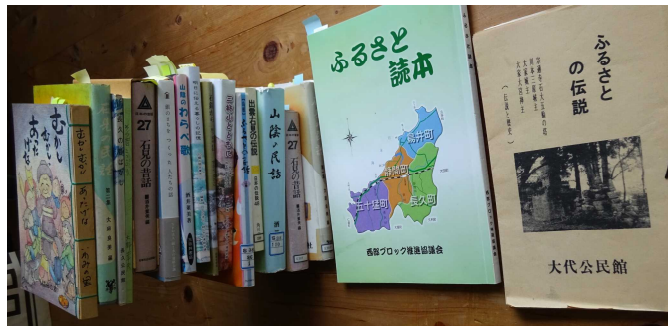
本日は、お忙しいなか、ご来場くださり、誠にありがとうございました。

「共に朗読を楽しむ」ーこの企画の目的です。いろいろ試行錯誤しながら、12回目を迎えました。初回から一貫して取り上げてきたのは、「日本の名作・古典」と「地域の創作作品」です。

今年度は、月に2回実施している大田市民会館カルチャークラスで、地域の民話を読んできました。ぼぼ60話くらい読んだ中から、みんなが面白い民話を15話ばかり選び、朗読に適した文になるように手を入れ、15話の中から、希望を最優先して朗読者を決めました。

今回は、劇研「空」以外に、岩谷正枝さん、山内理緒さん、加藤正子さん、そして大田出身で広島に在住の福田正子さんが参加してください、個性に富んだ楽しい朗読会になりそうです。

残念なことですが、長い間、熱心に朗読と取り組み毎回参加して頂いていた澤



江洋子さんが8月に他界されました。94歳とご高齢でしたが、毎回カルチャークラスにも参加され、静間のコーラスグループにも参加しておられました。他界される2週間くらい前にお電話した時、毎朝発声練習をしているとのことでした。みんなの勇気と励みになる人でした。謹んでご冥福をお祈りします。

劇研「空」は2000年に、演劇発表を目標に立ち上げた演劇サークルです。当初は毎年演劇を上演してきました。しかし演劇発表には、練習場所、発表経費、練習時間、裏方、役者、協力者などが欠かせませんが、どの点でも多くの困難があり、定期的に劇を発表することが難しくなりました。活動中止も考えましたが、地元大田に「発表できる場がある喜び」を消さないように、また永遠に眠ったままになりそうな貴重な「地域の歴史文化を掘り起こし再創造し、舞台化」することを目標に朗読にも取組んできました。単なる朗読ではなく、お客様が楽しめるように、音楽を取り入れたり、映像を投影して、「作品を舞台化」してきました。朗読する人も楽しみ、聞いている人も楽しむ・・・それが目標です。

第一回から、市民会館の地域育成事業として、会館スタッフから音響、照明の援助などの支援を受けて実施してきました。また、加入している文化協会からもご支援を頂いています。多くの関係者にお礼を申し上げます。

この民話の冊子は経費削減のために個人制作、個人印刷です。読みにくいところがあると思いますが、記録として何かのお役に立てば幸いです。

13回目があるかどうか不明ですが、本日を十分お楽しみください。